



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社BuySell Technologies 上場取引所 東
 コード番号 7685 URL <https://buysell-technologies.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 岩田 匡平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 小野 晃嗣 TEL 03(3359)0830
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（当社ホームページに決算説明動画を掲載予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	17,827	—	1,730	—	1,714	—	903	—
2020年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2021年12月期第3四半期 909百万円（—％） 2020年12月期第3四半期 一百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	64.21	62.87
2020年12月期第3四半期	—	—

（注）2020年12月期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年12月第3四半期の数値及び対前年増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	9,275	4,156	44.2
2020年12月期	8,837	3,251	36.6

（参考）自己資本 2021年12月期第3四半期 4,104百万円 2020年12月期 3,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00	105	18.6	3.2
2021年12月期	—	0.00	—	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	14.00	14.00	—	16.0	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

（注）2. 配当予想の詳細につきましては、本日（2021年11月12日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（注）3. 2020年12月期は実際の配当金の金額を記載しておりますが、当社は2021年1月1日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を実施したため、2021年12月期（予想）は当該株式分割後の配当金の額を記載しております。そのため、2020年12月期の配当金を当該株式分割後の基準にて換算しますとその年間配当金は7.5円になることから、2021年12月期（予想）の1株当たりの年間配当金は実質6.5円の増配となる予定です。

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,200	70.7	2,230	130.3	2,200	138.4	1,230	117.4	87.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	14,131,524株	2020年12月期	14,013,120株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	52株	2020年12月期	52株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	14,076,039株	2020年12月期3Q	13,703,852株

（注）当社は、2020年12月7日開催の取締役会の決議に基づき、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い期末発行済株式数、期末自己株式数は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年12月期第3四半期の個別業績 (2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	13,559	30.6	1,217	129.3	1,207	131.1	679	137.2
2020年12月期第3四半期	10,383	10.2	531	△33.4	522	△33.7	286	△42.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	48.3	47.2
2020年12月期第3四半期	20.9	20.7

(注) 当社は、2020年12月7日開催の取締役会の決議に基づき、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、これに伴い1株当たり当期純利益は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
2021年12月期第3四半期	8,375	3,937	46.4	274.96
2020年12月期	8,010	3,257	40.4	231.15

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 3,885百万円 2020年12月期 3,239百万円

(注) 当社は、2020年12月7日開催の取締役会の決議に基づき、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、これに伴い1株当たり当期純利益は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 2021年12月期の個別業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,100	29.4	1,690	82.0	980	71.4	69.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、個人消費と企業活動の自粛など経済環境は厳しい状況となりました。2021年1月、4月及び7月に緊急事態宣言が発出されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属するリユース業界については、フリマアプリやインターネットオークションなどの普及に伴い、消費者にとってリユース品を売買しやすい環境が広がっていることを背景に、市場規模はますます拡大しております。2018年度において顕在化しているリユース市場規模は約2.2兆円とされ、2025年には約3.3兆円規模に拡大すると予測されております（参照：「中古市場データブック2020」リサイクル通信2020年10月8日）。また、潜在的なリユース市場規模を示す、自宅内の一年以上利用されていない不要品（以下「かくれ資産」）の日本における総額は2018年時点で約37兆円と推計されており、かくれ資産として今後追加されることになる過去一年間に不要となった品物の規模も約7兆6,000億円と試算されており、リユースの潜在市場規模はより大きなものと考えられます（「平成29年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」経済産業省、ニッセイ基礎研究所監修平成30年11月7日付調査結果）。

このような環境の中、当社グループにおける状況は以下の通りとなりました。

買取においては、当社の主要サービスである「バイセル」の認知向上のために、リスティング等のオンラインメディアのみならず、テレビCMやポスティングチラシなどのオフラインメディアを組み合わせたクロスメディアマーケティング施策を実施してまいりました。また、買取店舗（5店舗、2021年9月末時点）の出店など、買取チャネルの拡大を図ってまいりました。

さらに、ブランドバッグを中心とした年間約200,000点を取り扱う古物オークション「TIMELESS AUCTION」や百貨店の常設店舗や催事にて買取を行う総合買取サロン「タイムレス」を展開する株式会社タイムレスを2020年10月に子会社化し、時計・ジュエリー・ルースを取り扱うWEBオークションの開始や百貨店での常設店及び催事買取の強化を図ってまいりました。

販売においては、業者への販売や古物市場への出品などのtoB向け販売とECや催事などのtoC向け販売の傾向分析を進め、商品毎に適切な販売方法を選択するなどにより、在庫回転期間の短縮化とともに、収益性の改善を図ってまいりました。外出自粛などを背景に消費者の購買環境の変化もあり、toC向け販売では、自社ECサイト「バイセルオンライン」やECモール（「楽天市場」や「ヤフオク！」）などでの販売に加え、ライブコマースを中心とした海外販路の拡大を図ってまいりました。

そのほか、アプリ買取事業「CASH」に係るソフトウェアの収益性の低下による将来の回収可能性を検討した結果、減損損失107百万円を特別損失として計上いたしました。また、事業撤退の意思決定により、カタログ通販事業「美つむぎ」に係る事業撤退損26百万円を計上いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高17,827百万円、営業利益1,730百万円、経常利益1,714百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益903百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「ネット型リユース事業」として表示していた報告セグメントの名称を「着物・ブランド品等リユース事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。また、当社は、「着物・ブランド品等リユース事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて550百万円増加し、6,373百万円（前期末比9.5%増）となりました。これは主に、売上が好調に推移したことによる現金及び預金187百万円の増加及び売掛金204百万円の増加、仕入の増加に伴う商品204百万円の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて113百万円減少し、2,901百万円（前期末比3.8%減）となりました。これは主に、のれん償却によるのれんの減少135百万円、アプリ買取事業「CASH」に係るソフトウェア107百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて145百万円増加し、3,229百万円(前期末比4.7%増)となりました。これは主に、未払法人税等251百万円の増加の一方で、1年内返済予定の長期借入金73百万円の減少及び短期借入金50百万円の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて612百万円減少し、1,889百万円(前期末比24.5%減)となりました。これは主に、償還による社債80百万円の減少、及び約定弁済による長期借入金530百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて905百万円増加し、4,156百万円(前期末比27.8%増)となりました。これは剰余金の配当による利益剰余金の減少105百万円の一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金903百万円の増加、ストック・オプションの行使による資本金及び資本準備金66百万円の増加、その他有価証券評価差額金5百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結及び個別業績予想につきましては、2021年8月13日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,640,790	3,828,500
売掛金	156,322	361,017
商品	1,862,815	2,067,220
その他	163,299	119,552
貸倒引当金	△535	△2,643
流動資産合計	5,822,692	6,373,648
固定資産		
有形固定資産	305,117	346,156
無形固定資産		
のれん	1,803,606	1,668,335
その他	443,263	441,316
無形固定資産合計	2,246,870	2,109,651
投資その他の資産		
その他	487,987	463,524
貸倒引当金	△25,130	△17,579
投資その他の資産合計	462,856	445,945
固定資産合計	3,014,844	2,901,753
資産合計	8,837,536	9,275,401
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,816	67,639
短期借入金	150,000	100,000
1年内償還予定の社債	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	789,038	715,259
未払法人税等	324,890	576,726
賞与引当金	—	60,835
ポイント引当金	1,747	3,694
その他	1,677,146	1,585,719
流動負債合計	3,084,637	3,229,874
固定負債		
社債	300,000	220,000
長期借入金	2,195,983	1,665,978
資産除去債務	3,165	3,165
その他	2,553	—
固定負債合計	2,501,701	1,889,143
負債合計	5,586,339	5,119,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	631,101	664,311
資本剰余金	1,006,201	1,039,411
利益剰余金	1,595,928	2,394,608
自己株式	△121	△121
株主資本合計	3,233,110	4,098,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	5,910
その他の包括利益累計額合計	—	5,910
新株予約権	18,087	52,265
純資産合計	3,251,197	4,156,383
負債純資産合計	8,837,536	9,275,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	17,827,633
売上原価	7,355,683
売上総利益	10,471,950
販売費及び一般管理費	8,741,250
営業利益	1,730,699
営業外収益	
受取利息及び配当金	39
その他	3,080
営業外収益合計	3,119
営業外費用	
支払利息	17,483
社債利息	389
その他	1,705
営業外費用合計	19,578
経常利益	1,714,241
特別利益	
新株予約権戻入益	3,683
特別利益合計	3,683
特別損失	
減損損失	107,592
事業撤退損	26,274
特別損失合計	133,867
税金等調整前四半期純利益	1,584,057
法人税、住民税及び事業税	699,420
法人税等調整額	△19,140
法人税等合計	680,280
四半期純利益	903,777
親会社株主に帰属する四半期純利益	903,777

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	903,777
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	5,910
その他の包括利益合計	5,910
四半期包括利益	909,687
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	909,687

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。